

令和5年度
国分寺市障害者地域自立支援協議会
専門部会 中間活動報告書

相談支援部会

就労支援部会

精神保健福祉部会

令和5年度 相談支援部会 中間活動報告書

今年度部会の主な取組予定

- ◆ 相談支援体制の現状把握と課題の検討
- ◆ 緊急を緊急にしないための取組に関する検討
- ◆ 災害対策に関する取組の検討

活動内容及びスケジュールなど

	日にち	内容	備考
第1回	6月8日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援体制の現状把握と課題の検討 ・緊急を緊急にしないための取組に関する検討 ・災害対策に関する取組の報告 ・相談支援事業所連絡会の実施報告 	
第2回	9月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児通所支援事業所連絡会の実施報告 ・地域体制強化共同支援の実施報告 ・重層的支援体制整備の実施報告 ・情報提供及び情報共有 	
相談支援事業所 連絡会	4月20日(木) 5月18日(木) 6月15日(木) 7月21日(金) 8月17日(木) 9月21日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス等利用計画の書式等について ・計画相談における災害対策(モニタリングを活用した避難行動要支援者登録の把握等) ・計画相談における手続きの効率化について ・計画相談における加算に関する勉強会 ・基幹ホームページの活用方法について ・新任研修 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度支給決定基準等について ・ブラッシュアップ研修 <ul style="list-style-type: none"> ・自立生活サポートセンターこくぶんじの事業について ・消費生活相談について(経済課) ・相談支援事業の経営の安定化について ・事例勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護センターこくぶんじの事業と地域福祉権利擁護事業を利用している事例 	・毎月開催
障害児通所 支援事業所 連絡会	7月11日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童から成人への円滑な移行と教育との連携 ・武蔵台学園卒業後の進路について ・就労支援部会及び就労支援事業所との連携について ・セルフプラン増による影響について ・障害児通所支援事業所間の情報共有 	

成果・活動から見えてきたことなど

- ・重層的支援体制整備事業が実施されていることにより、分野を越えての情報共有や連携がしやすくなっていることが報告された。障害分野だけでは解決できない事例や、数年内に変化が予想される事例(親の高齢化等)の予防的関わり(ゆるやかな見守り)等、各機関で積極的に活用できるよう今後も情報共有や事例検討を行っていききたい。
- ・利用者の権利を守るためにも、相談支援事業所が継続的に運営できることが大きな課題となっている。今回は全国的にも数少ない相談支援事業所単独で安定した運営を実現している事業所より、相談支援事業所が安定した運営をしていくためのポイントについて話を伺う機会を設け、各相談支援事業所を運営している法人の経営層にも一緒に話を聞いていただいた。後日行われた連絡会の中で各相談支援事業所の相談支援専門員より、様々な理由で同じように取組には課題があるが、できることから取り組んでいきたいなど前向きな意見も出されていた。今後も引き続き、相談支援事業の安定した運営についての検討及び勉強会を実施していきたい。
- ・災害対策については、令和2年度から現在までの取組を確認した。併せて、防災意識を喚起するツールとして、サービス等利用計画の書式を活用することができないか検討している。また、災害対策に関する情報が点在しており、障害当事者やその家族及び支援者が必要な情報にたどり着くことが難しい状況があることから、災害対策に関する情報を整理したまとめサイトを作成することを検討している。その他、市内の地域活動支援センターとの共同による防災への取組が検討されており、今後は実施した内容について、その都度、部会に報告をしていくことが確認された。
- ・児童から成人、成人から高齢への円滑な引継ぎ等、切れ目のない相談支援体制の構築については、引き続き課題の共有と取組について検討していく。

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
第3回	2月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援体制の現状把握と課題の検討 ・緊急を緊急にしないための取組に関する検討 ・災害対策に関する取組の報告 ・相談支援事業所連絡会の実施報告 ・障害児通所支援事業所連絡会の実施報告 ・地域体制強化共同支援の実施報告 ・重層的支援体制整備の実施報告 ・情報提供及び情報共有 	
相談支援事業所 連絡会	10月20日(金) 11月16日(木) 12月21日(木) 1月19日(金) 2月15日(木) 3月21日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス等利用計画の書式等について ・計画相談における災害対策(モニタリングを活用した避難行動要支援者登録の把握等) ・計画相談における手続きの効率化について ・計画相談における加算に関する勉強会 ・ブラッシュアップ研修 ・事例勉強会 	・毎月開催
障害児通所 支援事業所 連絡会	1月30日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童から成人への円滑な移行と教育との連携 ・就労支援部会及び就労支援事業所との連携について ・障害児通所支援事業所間の情報共有 	

令和 5 年度 就労支援部会 中間活動報告書

今年度部会の主な取組予定

- ◆ 就労支援に関する地域の課題の掘り起こしと各課題解決のために必要な取組について協議
- ◆ 優先調達の推進について協議
- ◆ 国分寺障害者施設お仕事ネットワーク価格表の活用について協議
- ◆ 商業施設での販売会の充実について協議

活動内容及びスケジュールなど

	日にち	内容	備考
第1回	6月6日(火)	①各作業部会の取組状況報告 ・国分寺障害者施設お仕事ネットワーク(商業施設での販売会, 東京都共同受注) ・就労支援事業所連絡会 ②今年度の取組の進捗状況の報告や協議等	
第2回	8月29日(火)	・優先調達の推進について ・国分寺障害者施設お仕事ネットワーク価格表の活用について ・商業施設での販売会の充実について ・その他(放課後等デイサービスと就労支援事業所との連携について)	
国分寺障害者施設お仕事ネットワーク	毎月1回 (原則第2木曜日)	＊共同受注に関する進捗状況報告等 ＊価格表を活用した新規受注の開拓 ＊販売会の企画・提案・実施・課題整理 ＊就労支援部会から出される課題についての協議など	
就労支援事業所連絡会	7月4日(火)	＊関係機関による一般就労支援に関する課題の共有や実習先の開拓等についての協議など(国分寺駅北口で開催予定の「ぶんじハロウィン」への協力)	

成果・活動から見てきたことなど

上半期の部会については、主に各作業部会の取組状況について情報共有することを中心に運営した。優先調達の推進についての協議としては、市の契約案件を優先調達で受注するためには、市の職員と各お仕事ネットワーク加盟事業所が顔の見える関係を作ることが大切であることを前提に、どういった動きができるかを検討した。また、お仕事ネットワークのような共同受注組織がない自治体の場合、発注できる事業所がないことを理由に、優先調達を断念するケースも有り得る為、障害福祉課から他市の障害福祉課に、お仕事ネットワークについて話すことも、可能性として考えられるという意見

等が挙がった。

お仕事ネットワークの価格表の活用に関しては、知名度不足を感じているが、各事業所の受注獲得への意欲にばらつきがあり、複数の事業所が加盟して運営するスケールメリットが十分に発揮できていないことも、受注拡大に結びつかない要因のひとつと考えられるという意見が挙がった。価格表の配布については、動画を活用すること、商工会の活動に参加してお仕事ネットワークについて周知すること等、周知方法の工夫が必要という意見が挙がった。シルバー人材センターとも折り合いをつけながら、実際の反響について情報共有しながら、価格表が活用されることにより、障害者の作業・収入の拡充に繋がっていければと考える。

商業施設での販売会実施に関しては、ミーツ国分寺、国分寺マルイなどの商業施設と販売会の開催時期、場所、時間帯について打ち合わせを予定しているが、上半期はタイミングが合わず実施できていない。12月の障害者週間行事における販売会はセレオ国分寺で予定している為、見えてきた課題を元に、工夫や改善点を検討し、次回以降の販売会の売上アップに繋げていきたいと考えている。

就労移行支援事業所連絡会は、就労移行支援事業所に限らず、一般就労を支援する事業所（就労継続支援B型）も参加し、就労支援事業所連絡会を開催した。就労移行支援事業所4事業所、就労継続支援B型事業所2事業所、合計6事業所の参加となった。

地域における実習先の開拓については、国分寺市障害者就労支援センターの運営委員会を通じて、地元商店街のイベントへの参加、地域交流、相互理解を深める計画立案を進めている。顔の見える関係性を築きながら、地域への貢献、障害者雇用の啓発、実習受入先の開拓などに繋がる取組を行っていかねばと考えている。その他の実習受け入れを了承していただいている企業等での実習については、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてからの回答の為、実施できていない状況が継続している。今後も実習機会について調整を図る予定。

その他、放課後等デイサービス事業所、就労継続支援事業所、相談支援専門員など、学校と関わる際に閉鎖的な雰囲気をお互いに感じているのではないかと、お互いがどういった活動をしているのか、情報共有は大切ではないかと等の意見交換を行った。今後、相談支援や就労支援の連携は継続的に行う必要があるが、どういう形で行うのが最適なのか、今後も意見交換を行っていく予定となった。庁内実習等については概ね予定通りに実施している。

今後の活動予定

障害者週間行事における販売会	12月1日(金)～ 12月7日(木)	お仕事ネット加盟団体による自主製品等の販売やクラフト品等のワークショップを計画	会場:セレオ国分寺
第3回	2月5日(月)	① 作業部会の取組状況報告 ② 今年度の取組について * 検証と次年度に向けた課題抽出 ③ 次年度の取組について協議	
国分寺障害者施設お仕事ネットワーク	11月9日(木) 12月14日(木) 1月11日(木) 2月8日(木) 3月14日(木)	* 共同受注に関する進捗状況報告等 * 価格表を活用した新規受注の開拓 * 販売会の企画・提案・実施・課題整理 * 就労支援部会から出される課題についての協議など	商業施設での販売会 ①12月1日(金)～7日(木)セレオ国分寺 *うち2日(土)、3日(日)はワークショップ開催予定
就労支援事業所連絡会	未定	①企業実習先の開拓について ②関係機関による一般就労支援に関する課題の共有	

令和5年度 精神保健福祉部会 中間活動報告書

今年度部会の主な取組予定

- ◆全体を通じて「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて協議を行う(継続)。
- ① 「地域生活支援拠点」における「体験の機会・場」の機能について、今年度開始されるピア国分寺でのミドルステイの進捗を把握し、有用性や効果について検討を行う。
- ② 精神障害者に必要な緊急時の支援について、ニーズの整理や必要な機能について協議する。
- ③ 精神障害に関する普及啓発について、対象や方法等を引き続き協議する。また、若年世代への普及啓発については教育部門との連携を模索する。
- ④ 精神障害当事者の方からの生活状況や暮らしのニーズ等のヒアリングを行い、今後の支援の課題を抽出し、施策・制度への反映を模索する。また、当事者の方の活躍の場の拡大について検討する。
- ⑤ 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に欠かせない要素である居住支援の実際について、現状の把握を行う。
- ⑥ 地域移行等支援連絡会において、「退院意欲・退院支援意欲喚起のためのツール作成」など退院支援の体制構築の取組を進め、近隣市の精神科病院へのアプローチを重ねる。

活動内容及びスケジュールなど

	日にち	内容
地域移行等支援連絡会①	4月21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の地域移行等支援連絡会の活動について ～今年度の近隣市精神科病院訪問についての確認含む～ ・退院意欲喚起のためのツール作成について ～GH 紹介動画第2弾について～ ・ネットワーク研修Ⅰ(地域移行)について ・個別ケースについて ・令和5年度第1回精神保健福祉部会について
地域移行等支援連絡会②	5月30日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・退院意欲喚起のためのツール作成について ・ネットワーク研修Ⅰ(地域移行)について ・個別ケースについて ・令和5年度第1回精神保健福祉部会について
第1回	6月23日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・新旧部会員の交代と昨年度の振り返り ◆今年度の協議内容について ①地域生活支援拠点へのピア国分寺の位置づけについて ⇒地域移行・地域定着に向けた体験利用に係る課題等の整理 ②支援につながりにくい世帯への支援について ⇒支援者が連携し、世帯としてアセスメントをしていく ③当事者の方の活躍の場について(今年度のヒアリングの取組含む) ⑥地域移行等支援連絡会の活動報告と今年度の取組について ⇒退院意欲・退院支援意欲喚起のツールと精神科病院へのアプローチの進捗報告
地域移行等支援連絡会③	6月23日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・退院意欲喚起のためのツール作成について ・ネットワーク研修Ⅰ(地域移行)について ・個別ケースについて
スキルアップ研修(地域移行)	7月14日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域移行支援 in 国分寺「地域支援機関と精神科病院との連携」 ～看護の現場の取組を知り、私たちにできることを考えよう～

地域移行等 支援連絡会④	8月1日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク研修Ⅰ(地域移行)の振り返り ・退院意欲喚起のためのツール作成について ・個別ケースについて
地域移行等 支援連絡会⑤	9月12日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討～好事例の集約～ ・普及啓発のための「11月のぶんぶんチャンネル」撮影の打ち合わせ ・令和5年度第2回精神保健福祉部会について
第2回	10月6日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ①「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」と地域生活支援拠点の連動について ③精神障害に関する普及啓発活動・広報等について ④当事者ヒアリングの実施に向けて ⇒設問項目の検討, ヒアサポーター等の活用についての協議・検討 ⑥地域移行等支援連絡会の活動報告ならびに今後の活動について

成果・活動から見えてきたことなど(課題整理)

<p>◆昨年度より作業部会として新たに位置付けた地域移行等支援連絡会を定期的に関催。国分寺市民の地域移行支援や地域定着支援を促進していくための「退院意欲喚起のためのツール」作成や、個別事例の検討、また事例の中から地域移行支援を進めるための「好事例」を抽出、そのケース検討を行った。今後は、近隣市精神科病院へツール第二弾の提供を行い、意見を頂くとともに、「好事例」の検討から把握した地域移行・定着に必要な要素も念頭におき地域移行支援を行い、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を進めていきたい。</p> <p>◆普及啓発については、11月のぶんぶんチャンネルにおいて、精神に係る疾患の早期発見・若年層への正しい知識の普及などの観点から、若い世代を念頭においた情報発信を行う予定となっている。また、若年層への普及啓発の拡大をはかるための一環として、市内小中学校向けのこころの健康に関する講座を企画し、教育部門に発信できないか、検討を継続していく。さらに高校の保健体育の教科書に精神疾患や精神保健福祉等の記述が復活したことを鑑み、高校への関わりを持ってないかについても研究していく。</p> <p>◆「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」において重要な機能を担う地域生活支援拠点の充実に向けて、今年度より開始されるミドルステイの利用状況から、その有用性や効果を検証し、安定した地域生活のための支援方法の拡充を見出していく。</p> <p>◆普及啓発への取組の検討の中で、精神障害当事者の体験や発言の必要性が再認識された。引き続き、直接的なヒアリングを行い、生活支援の要素やニーズをくみ取り、また地域移行支援等連絡会において抽出された課題との共有化もはかりつつ、地域の課題や支援ニーズを確認・共有していく。</p>

今後の活動予定

	日にち	内容
第3回	2月2日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ②「8050問題」を含む分野を超えた連携のあり方について ⇒今後の支援における課題の抽出 ④当事者ヒアリングの実施 ⇒生活状況の把握・要望の聞き取り・ヒアサポーター等の活用に関する意見聴取 ⑤居住支援について ⇒現状把握と課題整理 ⑥地域移行等支援連絡会の活動報告及び今後の活動について ◆次年度に向けての課題・取組について
地域移行等 支援連絡会	月1回開催	<ul style="list-style-type: none"> ◆退院意欲・退院支援意欲喚起のためのツールの作成に関する検討 ◆個別ケースの共有、退院支援に向けた検討など